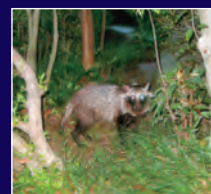


週報

国際ロータリー・テーマ

ロータリーは分かちあいの心

Vol.41 第1998回例会 2007.10.4



今年度会長テーマ

ロータリーは楽しさを分かちあい
 ロータリーに楽しさを分かちあい
 新しい仲間の輪を拓きましょう 皆さまとともに

■司会：
漆原例会運営委員



■点鐘：樺澤会長

■斉唱：国家「君が代」
 ■合唱：ロータリーソング
 「奉仕の理想」
 ◆ソングリーダー：村田会員



■お客様紹介：
木下パスト会長



◆ゲスト：
武蔵村山RC 波田野稔様
 ◆ビジター：
入会予定者：肥沼義則様

会長報告 樺澤会長

昨今、沖縄に関する教科書の記述について問題になっておりますが、それで思い出しましたので、ロータリークラブにおける国旗と国歌「君が代」についてご紹介したいと思います。



国際ロータリー第2790地区のパストガバナーの斎藤博様が、「ロータリーの組織管理原則」で次のように述べられています。例会で君が代を斉唱するのは、昭和6年に京都ロータリークラブに壮士が、ロータリークラブはアメリカのスパイだ。断固この活動を粉砕する。と乱入したことがあり、このときの会長が理論家で、ロータリーについて説明し、我々は自己を磨くことによって社会改良の

エネルギーを放出している。それは御国のため、天皇陛下のためにやっていると説明されたそうです。
 壮士らはその証を立てよと、迫ってきたので、例会に国家を斉唱し、国旗の掲揚を行うという事で右翼の追及をかわしたという歴史がある。
 外国でメイクアップをされた方はご存知かと思いますが、外国では歌はよく歌いますが、国家の斉唱はなく、国旗の掲揚もありません。

幹事報告 河野幹事

- ガバナー事務所：
地区補助金の申請について
メ切 2007年10月31日(水)
(9/28)対人地雷除去に関する特別委員会資料の受理
- 葛飾東RC：
地区大会プログラム一部変更のお知らせ
- 対人地雷除去委員会：
「ロータリークリアランドプロジェクトカンボジア」募金協力3分スピーチのお願いについて
ロータリークリアランド募金ボックス
開箱集計金振込みについて
メ切 2007年10月31日(水)
- 米山奨学委員会：
米山奨学生カウンセラー研修会及び、米山奨学生・指導教官・カウンセラー3者懇談会開催について
2007年11月27日(火)
於 ホテルグランドパレス
研修会 15:00～ 懇親会 17:30～
- 青少年育成委員会：
(沖縄)青少年育成に関する会議の案内について
2007年10月31日(水) 14:00～17:00
於 ラグナガーデンホテル
- 回覧：
「友」インターネット速報 No.305



■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／相羽 正 小林 学 田中 重義

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500

■出席報告 飯田例会運営委員

在籍会員数	出席	免除	欠席	出席率
40	33	0	7	81.58

■前々回メイクアップ修正後

前々回欠席：3名

■前々回出席率

メイクアップ修正後：92.11%

■前々回メイクアップ者：

赤木会員 理事会
飯田会員 地区青少年委員会
石山会員、當間会員 東大和RC
二ノ宮会員 所沢中央RC
漆原会員 FRCゴルフ



■ニコニコBOX 山本クラブ管理委員

■ご結婚祝月：

目時会員、細渕会員
竹田会員、恵面会員

■会員誕生祝月：樺澤会長

■令夫人誕生祝月：

目時会員、野崎(一)会員



◆野澤会員：飯能RC行ってきました。車代をニコニコに入れます。

◆波田野様：本年もよろしくお願ひします。

◆神崎会員：ISO9001を取得しました。先週は休んですみません。

◆河野会員、金子会員、漆原会員：肥沼さんようこそ。



本日のニコニコ合計：34,000円
累 計：566,000円

■委員長報告

■目時社会奉仕委員長

東村山市産業祭について今年も来る11月10日(土)、11日(日)に、産業祭が行われますが、当クラブでも参加することが理事会で決定されました。ただ、今年度は、社会奉仕委員会の意向で食品の販売ではなく、ロータリークラブのアピールを兼ねたイベントで参加したいと思います。ついては、会員の皆様にはいろいろな案があると思われまますので、アンケートにご協力お願いいたします。尚、アンケートに際しましては、別紙を利用してください。



■竹田会員増強委員長

会員候補者、大勢の推薦頂きまして有り難うございました。10月19日 18:30より「たきび」にて懇談会を開催します。会費は3000円です。出席の申し込みは会員増強委員会までお願いします。



■恵面財団・米山委員長

チャリティーバザーご寄付のお願い

《ご寄付をお願いしたい品物》

タオル類、寝具類、陶器類、ガラス製品、手芸品、文房具、雑貨等(未使用品をお願いします)

ご提供日 10月1日～10月24日まで

バザー開催日 10月28日(日) 午前10時～
於 野澤ビル1F



■卓話

■神崎職業奉仕委員長

職業奉仕とは「職業を通じて奉仕する」ことである。あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を活かしていく為にロータリーが育成し支援することである。ロータリーの基本理念の一つである奉仕は職業奉仕にあると言われております。そ奉仕の機会は自分の職業を通じて社会に奉仕することです。それを十分に発揮できる為に会員の皆様と考え、職業奉仕の精神を高めるよう頑張りたいと思います。



■野澤パスト会長

《一業一会員制》

ポール・ハリスが3人の仲間、石炭商のシルヴェスタ・エール、洋服屋のハイラム・ジョーリ、そして鋳山技師のガスターヴァス・ローアと共に、1905年2月23日初めての会合を持ち、これがロータリー創立の出発日であったことは余りにも有名な話であります。しかしポール・ハリスはここに至るまで約10年にわたり社会の荒波にもまれ修行してきたものです。ポール・ハリスは1891年、アイオワ州立大学を卒業し弁護士資格を取得したのですが、先輩の祝辞に「卒業生はすぐ一生の仕事にかかることなく、先ず5年間は田舎の小さな町で生活し、人の営みをよく観察し、その後大都会に出て一生の仕事を始めるとが良いであろう」と言われ、ポールはこの言葉を真に受け行動を起こすのですが、ポールには財産は無かったので至る所で生活費を稼がなければならなかったのであります。まず彼は北方大陸を横断しサンフランシスコに行きました。そこで最初の仕事、有名な新聞社の通信員となりました。以後南カリフォルニアの農業



地のレーズン缶詰工場、ロサンゼルス商科大学の講師、コロラド州デンバーでは俳優となり多くのファンを得た。ついでロッキー・マウンテン・ニュースの記者、同地郊外の農場ではカウボーイに、そして再び同地新聞社の記者、フロリダに移り一流ホテルの夜勤事務職員、大理石会社の外勤営業部員となり、この頃アメリカ諸州を旅行しながらさらに見聞を広めたのです。その後イギリス行きを実現すべく家畜運搬船の水夫、缶詰工場等で働き、ロンドンを始めいくつかの地方を見物することが出来ました。

1893年、アメリカに帰国しシカゴで開かれた世界博覧会を見るため再びシカゴを訪れました。この会場で日本のロータリーの創立者米山梅吉が通訳として働いており、二人は会場ですれ違っていたかもしれません。その後友人のクラークの大理石会社に再び雇われ、クラークの好意によりヨーロッパ諸国を訪問し一層の見聞を広めるに至りました。

ポール・ハリスは4年9ヶ月の歳月を費やし、あらゆる職業体験と世界数ヶ国の伝統文化を体得し、その豊富な人生遍歴を携えてシカゴに居住することとなりました。

1905年2月23日、4人の仲間一人、鉦山技師のガスターヴァス・ローアの事務所ユニティ・ビル711号室で会合を開いた。これが後にロータリークラブの創立記念日となったのである。

その一年後、親睦を目的とする一業一会員制の原則、奉仕を目的とする一業一会員制の原則、これを基本とし、二か条の綱領が作られたのです。

ポール・ハリスは卒業後すぐに弁護士事務所を開設することなく、5年間諸国遍歴の旅に出た。それを彼は後の著「ロータリーと我が生涯」の中で<5年間の愚考>と呼び、しかし「ロータリーの理想と友愛」の中では<5年間の放浪の旅>と呼んでいる。

ロータリーは職業人の親睦団体であります。発足当初のロータリーにとって、ポール・ハリスの創案した同業者排除の効果は大変大きなものでありました。企業経済、自由競争の中で自分の会社がおかしくなりかかった時、ロータリアンは例会の場において、お互いの心が開放的であり、会員同志の信頼関係が強ければ、事業・経営のことも相談できる。相談された方も全くの異業種ですから、気軽にアドバイスできる。このようなことの積み重ねによって、ロータリアンがロータリーの例会に出席して得た功德を身にしみて自覚するわけがあります。

地域社会に存在するあらゆる職種の企業体験と知恵の恩恵に浴し得る、という利点を持って自分の職業の管理が行える、というのがロータリークラブの一つの大きな特徴なのであります。

この創立初期の素朴な慣行が、いわゆる知恵の交換と情報やノウハウの交換をし、もってどのような不況期にも潰れない強靱な体質の企業を作り上げる原理を開発しました。その知恵の総体を1927年に職業奉仕と名付けたわけがあります。

これを受けてロータリーの四大奉仕が確率されていきました。

《親睦と奉仕》

Fellowship、「親睦」とは、ゴルフ、旅行、同好会、食事会等と解釈している方が多いようです。ロータリーで言う本来の親睦とは「友情」「友愛」です。「絆」でも良いでしょう。

クラブや会員が、ゴルフや食事会を、また色々な同好会を作り楽しむこと、このことが親睦の目的だと理解しているメンバーが多いのですが、これは誤解です。親睦とはあくまで「友情」「友愛」を深めること、これが親睦の目的なのです。従ってゴルフ、旅行、また食事会等大いに結構ですが、これは「友情」「友愛」そして「絆」を深める為の手段なのです。

ではこの親睦の目的を達成する為に手段である旅行やゴルフを沢山やれば目的は達成されるのでしょうか。いやそうではありません。数を多くすることは大切ですが、併せて質も考慮しなければ本来の絆は深まりません。

では、質の良いゴルフや旅行、その他の活動を沢山すれば親睦の目的は果たせるのでしょうか。いやそうではありません。では言い換えればこの「友情」や「友愛」「絆」はこれで出来たという結論はありますか。いわゆる「友情」や「友愛」「絆」とは量や長さでは計り得ないものなのです。計るとすればその一人一人の考え方なのです。ロータリー運動が奉仕の理念を追求し続け、目的(ゴール)の無い活動(マラソン)を続けるのと同じように、この本来の親睦である「友情」や「友愛」にも限りはありません。オーバーな言い方をすれば永遠なのです。ですからロータリーは何事においても「あなた自身」なのです。

ロータリーでいう「奉仕の理想」はこの「親睦」と「奉仕」より始まり四大奉仕が達成され、始めてロータリアンとしての資質が備わるのであります。

■第4回(10月度)理事・役員会

■新入会員について：

吉川武男氏→承認(9/27体験出席)
肥沼義則氏→承認(10/4体験出席)

■新潟中越沖(柏崎)地震義援金について：

集金袋にて¥5,000-

■親睦旅行の行程と会員について：

詳細は10月11日に配布します。

■点鐘：樺澤会長